

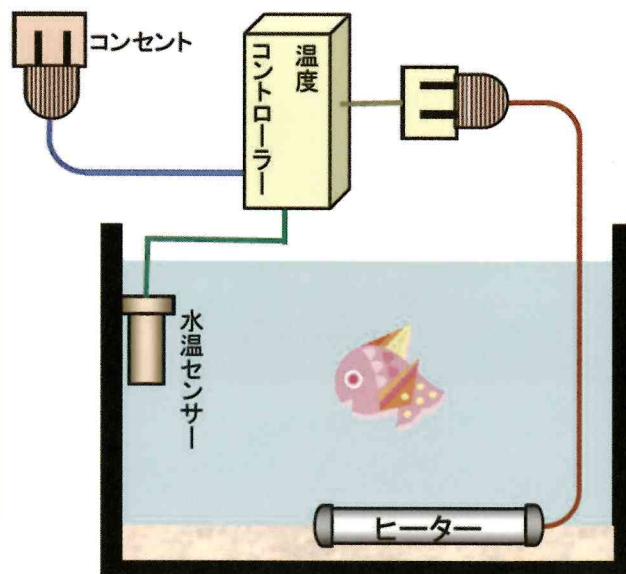
# 観賞魚水槽用まわりの製品①

## 水槽用ヒーターの過熱

温度コントローラーと必ず組合せて使用するべき水槽用ヒーターについて、ヒーター単独で使用したことによる過熱・焼損事故が多発しています。

### 事故の例

温度コントローラーと組み合わせて使用するべき水槽用ヒーターであるにもかかわらず、温度コントローラーを介さず直接に水槽用ヒーターに通電させたため、ヒーターが水から何らかの理由で気中に露出した際に空だき状態となり水槽が焼損した。



### ここに注意！

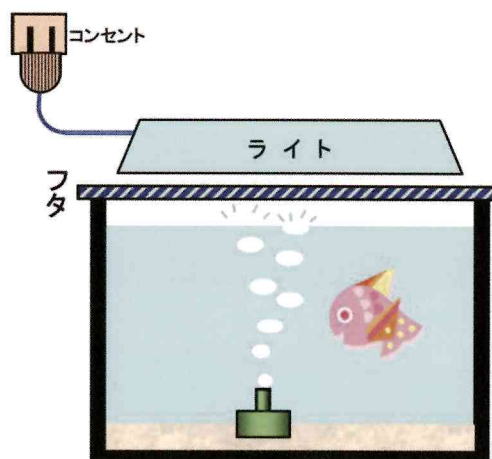
- ✓ 温度コントローラーと組み合わせて使用することが説明書で指定されている水槽用ヒーターについては、説明書に従い正しく配線し温度コントローラーと組み合わせた状態で通電させましょう。
- ✓ ヒーターが空だきとならないよう、水に充分浸っていることを確認しましょう。

## 観賞魚水槽用まわりの製品② 飛沫によるトラッキング現象発生

水槽近くにあるコンセントに観賞魚水槽からの飛沫がかかったことにより、コンセントから発火する事故が発生しています。

### 事故の例

リビングルーム壁際に置いた観賞魚用水槽上部から発火した。水槽上部にガラスフタが無く、飼育水の飛沫がライトにかかり、水槽ライトに付属の使用中のサービスコンセントに水が溜まったことにより、コンセントでトラッキング現象を起こして発火したものとみられる。

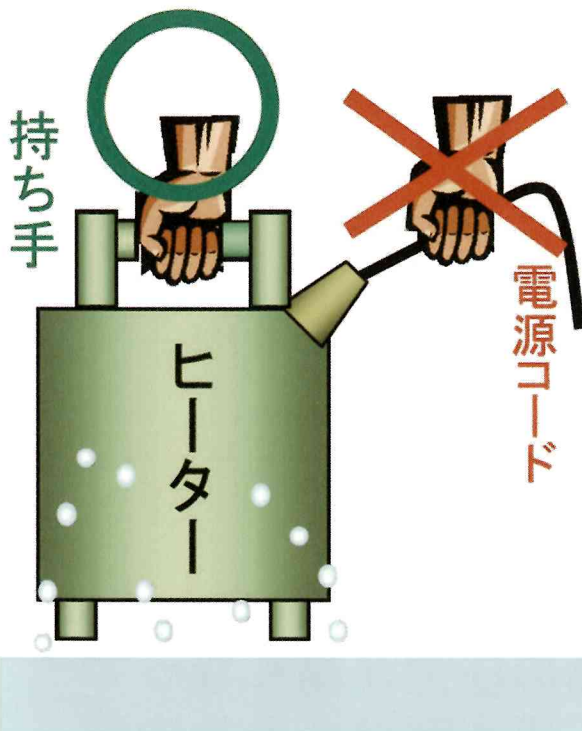


### ここに注意！

- ✓ 水槽ライトや水槽近くの電源コンセントに飼育水の飛沫がかからないよう、水槽近くに電気機器が置いてある水槽にあっては、フタを取り付けるなどして飛沫が飛び散るのを防ぎましょう。
- ✓ 製品の電源コンセントは飛沫がかからず、ちり、ほこりがたまらない場所に設置しましょう。

# 「風呂用投げ込みヒーター」 電源コードのショート

浴槽内のお湯の保温に用いられる「風呂用投げ込みヒーター」において、ヒーターの電源コードのショートが原因と見られる発火事故が発生しています。



## 事故の例

脱衣所床面上にスイッチの入った投げ込みヒーターを置いていたところ発火。原因を調べたところ、使用者が電源コードを持った状態で繰り返し浴槽内から出し入れしていたため電源コードを損傷し、ショートが発生したために発火したものとみられる。



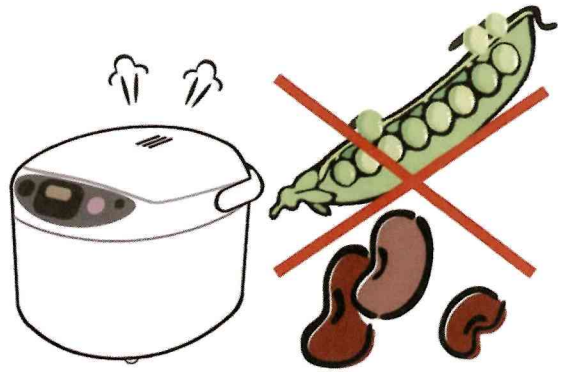
## ここに注意！

- ✓ 電源コードを引っ張ってヒーターを水中から引き上げると断線発生の危険があります。ヒーターを引き上げる際は、電源コードを引っ張るのではなく、ヒーター上部にある持ち手又はストラップに手を掛けて引き上げるようにしましょう。
- ✓ 電源を投入するのはヒーターが水につかっている間だけにし、ヒーターを水中から引き上げる際には電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きましょう。

# 『圧力炊飯器』での調理にご注意ください！

こんな事故が起きています

豆が入ったおかゆを調理し、炊飯完了のお知らせ音を聞いてから蓋を開けたところ、内容物（おかゆ）が飛び散って火傷した。



これが原因

豆の皮が調圧部（調圧弁、安全弁）の穴を塞いでしまったために、内部の圧力が高くなってしまい、その状態の時に蓋を開けたため内容物が飛び散った。

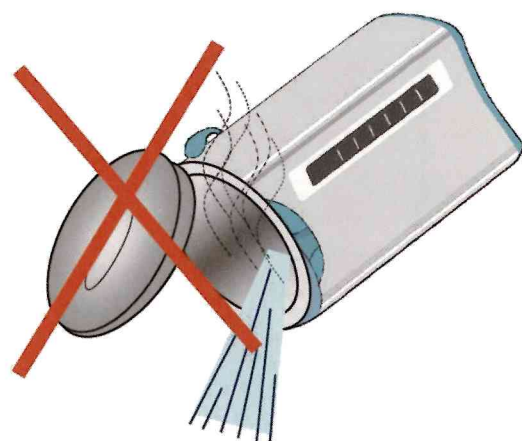
ここに注意

・圧力炊飯器では豆料理をしてはいけません。

# 『電気ポット』の残り湯を捨てる際に ご注意ください！

こんな事故が起っています

電気ポットの残り湯の排出時に上蓋を外さないで本体と蓋を持って残り湯を排出したときに、蓋が外れてお湯が太ももに掛かり火傷した。



これが原因

上蓋が付いたまま湯を捨てるとう上蓋が外れることがあります。

ここに注意

残り湯を捨てる際は、必ず上蓋を外し、取扱説明書に指示されている方向にポット本体を持って残り湯を捨てないようにしましょう。

# 『電気ストーブ』の使用に ご注意ください！

こんな事故が起きています

電気ストーブの上にバスタオルが落ちて、バスタオルとストーブ本体及び周辺が燃える火災が発生した。



これが原因

ストーブの上に洗濯物を吊して干すと、落下した場合に火災になる恐れがあります。

ここに注意

- ・ ストーブの上や近くに洗濯物や衣類等を吊してはいけません。
- ・ ストーブの近くに燃えやすいものを置いてはいけません。